

青年部 だより

統一マダン生野 2019

ら揚げなど、多くの屋台が出店され食欲も満たされた。



ステージでは、朝鮮中級・高級学校の生徒による民族舞踊や歌・民族楽器なども奏でられ、日頃の練習の成果を披露した。朝鮮半島の芸術だけでなく国際色豊かな舞台を楽しんだ。

統一マダンとは、日本各地で開催している朝鮮半島の統一のためのお祭りである。朝鮮半島の自主的平和統一、在日同胞の和合と団結、韓日民衆の連帯を目指して1994年から開催され今年で第26回を迎えた。

朝鮮半島の分断から、70年目の昨年には平昌オリンピックでの南北統一チームの活躍、続いて歴史的な朝米会談があり統一に向けた機運が大きく高まった。今、民衆の力を結集し、一日でも早く朝鮮半島の統一を実現し、東アジアの平和を勝ち取ろう。

(執行部 川村)

5月26日(日)、生野区巽公園(ロート公園)で、第26回統一マダン生野が開催された。大阪支部からは青年部5名、執行部4名で、焼き鳥とキャラクターすくいの模擬店を出店した。当日は、好天に恵まれ多くの人が集まり、用意した焼き鳥が1時間あまりで売り切れ、キャラクターすくいも大人気で、青年部員も子どもたちとのふれ合いを通して楽しい時間を過ごした。

また、私たち青年部の屋台以外にも焼肉・チジミなどの韓国料理や焼きそば・フランクフルト・カ

車両部会学習会

給与明細を分析する

6月2日(日)、大阪港湾労働者第1福祉センターにて大阪支部車両部会学習会を15分会19名執行部7名、総勢26名でおこないました。

赤保副部会長の司会で始まり、支部代表で樋口委員長から「地本トラック部会でも年2回行政交渉を行っています。トラック運送業界の現状について知っていただいて今日は学習していただきたいと思います。」とあいさつし、その後、講師である山田部会長から働き方改革、時間外分母計算方法、

残業単価の計算方法の説明がありました。講義の中で「給料の中味がどのような項目で支払われているか?自分の残業手当1時間単価は?計算したことありますか?」の問いに、数人が「分からない、または計算したことがない。」とのことでした。山田部会長は「自分の給料は自身でも理解していなければならぬ」と話されました。

質疑で、さくらタクシー分会の片山さんからも「時間外賃金の算出方法の周知について、車両部会



としてどう取り組むのか?」と意見がありました。

車両部会として、今後、幹事会などで、共有・周知して行くことにしました。幹事会を行うにあたり、各分会から幹事を選出し、学習・交流を行うことで一致し、陣内副委員長の閉会あいさつで午前中に終了しました。

(執行部 竹山)

G20大阪サミット開催のため、大阪府内の高速道路や一般道で通行止め規制が実施されます。一般道の渋滞で緊急車両や、妊婦が出産のため、陣痛・破水時に救急車を利用することについて、総務省消防庁の広報担当者は、「要請理由のうち、「出産のため」「陣痛・破水時」といった属性で、救急搬送が適正であるか否かを判断することはありません」と回答しています。救急車の不正使用はだめですが、前もって地域の病院などに相談して下さい。また、生活物資も届かない場合も予測されます。範囲外でも要人の移動で規制がかかる可能性もあります。G20より人命が大切です。



だんけつ



発行
大阪市港区築港1-12-27
全日本港湾労働組合関西地方大阪支部
発行責任者 國分仁昭



賃金・労働条件を全産業水準に引き上げよう

副委員長 陣内恒治

政府が進める交通運輸政策や労働政策に対して将来的な展望が見えない中、6月5日~6日、中央の第2回海コン・トラック・バス合同会議が開催された。

大阪支部から山田副委員長と私が参加した。中央は、諸見書記次長、畠山中央執行委員、新妻中央執行委員はじめ、各地本から総数29名が参加した。

中央報告と18・19年度の運動方針の補強と各地の行政交渉の報告を行なった。6日は10時から参議院議員会館にて、国土交通省と厚生労働省への要請行動で、国土交通省から各課あわせ18名が対応した。

回答の内容は事前に配布されていたので中身の確認と回答に対して質疑応答、意見交換を行ない、13時からは厚生労働省に労働者の拘束時間など具体的な要請を行なった。国土交通省が進めている標準

的運賃に対し「持続的に運営を行なっていく際の参考となる運賃を示すことにより労働条件の改善などを図るようにして参りたい」と回答された。この回答について私は、「この運賃を取ってくださねって話ではなく、これが標準的じゃないでしょうかというところだけで、後は企業がどう使って、荷主交渉をしていくかとか、そういった中身しかない」と思った。これでは今までと同じく企業が荷主などに交渉しても前進しないのではないかと懸念される。中央から出された18項目の要請内容を全て記載できないが、魅力ある労働環境にしなければ安定した生活もできず、W連結トラック、自動運転などだけでは大手企業の独占で、人材不足も解決できないだろう。

中央交渉、各地方行政交渉では、「中小企業などから現場の声があ

まり聞こえないので、全港湾など労働組合から現場の声や要請を受け、魅力ある産業にすることは共通することなので反映できるように努力していく」と回答を受けた。

働く人の賃金・労働条件を全産業水準に引き上げることが欠かせず、交渉を継続することの重要性を再確認した。各分会からの意見も反映させるために、分会代表委員会などで議論を行ない、賃金や労働条件向上を確立させましょう。



「商法及び国際海上物品運送法の一部を改正する法律」